

<b>教育目標:</b> ○考えを深める子 ◎ひとを思いやる子 ○からだをきたえる子 <b>目指す学校像:</b> 自分や友達によさや成長、学ぶ喜びを実感できる学校 <b>目指す児童・生徒像:</b> 元気に活動し、意欲的に学ぶ子 問題を論理的に解決し、学んだ事柄を活用できる子 心身ともたくましく思いやりのある子 <b>目指す教師像:</b> 子供と共に喜び、悩みを理解できる教師 教育公務員の自覚をもち行動できる教師 授業力向上へ意欲的な教師 児童、保護者、地域から信頼される教師
---

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	分析コメント	改善策
確かな学力の定着	問題解決的な学習を積極的に取り入れ、知識・技能の習得とともに思考力・判断力・表現力、及び学びに向かう力を育成する。	協働的な学びや一人一人に応じた個別最適な学びを授業に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。	PDCAに基づいた授業改善・指導方法の工夫に努め、児童の学力の向上を目指す。また、校内研究「国分寺学」を中心に地域に親しみ、学び、貢献する授業を推進する。	3		3		各教科で問題解決的な学習を行いながら、授業改善に努めた。総合的な学習の時間を中心に各教科で国分寺学を進めている。	学力向上に向けて、個人差が大きい。問題解決的な学習に、個別最適な学びをどう取り入れていくか授業改善が必要。
		ねらいを明確にした分かりやすい授業を展開するとともに、基礎的・基本的な学習の確実な定着や表現力の育成を図る。	ねらいに合わせて、1人1台タブレット端末を効果的に活用するなど、基礎・基本の学習の定着や表現力の育成に努める。	2		2		タブレット端末を活用し、自分の思いを表現し学級で共有することで、学びを広げ定着につながった。また、ドリル学習で基礎基本の定着を図った。	さらに、基礎基本の定着や総合的な学習の時間での表現力の一助となるよう、タブレット端末を活用していく。
豊かな人間性の育成	誰もが大切にされる温かな人間関係の構築に努め、思いやりのある児童を育てる。	生命尊重、人権尊重を基調とした豊かな人間関係の構築を目指した教育活動を推進する。児童が互いの立場や違いを認め・助け合い、差別や偏見のないよりよい学校生活を送ろうとする意識を高める。	学校全体で「いじめはしない・させない・見逃さない」を徹底し、道徳科の授業を創意工夫して展開し、児童主体の未然防止に向けた取組をする。	3		3		学校全体で情報共有し、未然防止に努めた。道徳の授業や日々の生活指導において、友達との関わり方やトラブルがあったときの指導を進めてきた。	「ありがとうの木」を代表委員会が中心に取り組んでいる。2学期は、全校や他校に児童が主体となって取組について発信していく。
		挨拶運動を実施し、児童を取り巻く言語環境を整え、正しい言葉遣いやマナーを身に付けさせる。	挨拶運動を代表委員の児童とともに、可能な限り実施した。その場にふさわしい言葉遣いについて日々児童と関わりながら指導した。	3		3			言葉遣いについて、日頃から教師ばかりでなく、高学年にも学校の代表だと意識をさせ、挨拶の手本となるよう進めていく。
健康や体力の向上	食育を推進し、食に興味・関心を持たせるとともに、丈夫な体を作る児童を育てる。	体育や特別活動において活動を工夫・改善を通して、児童の体力向上や心身の健康の維持・増進に努める。	体育や特別活動において、児童の関心や意欲を高める指導・授業改善を図り、外遊びを奨励し、運動の日常化を推進する。伝統的な日本の食文化や地場野菜「こくべじ」に触れる体験等を積極的に取り入れる。	3		3		外遊びの習慣はついてきたが、外に出たがらない子供も一定数いる。クラス遊びなどで楽しく遊べるように関わっていく。給食準備中に給食委員会の児童が作成した「こくべじ」の歌を流して、地場野菜に興味をもてるような環境が整った。	学級遊びなど、工夫して取り入れて運動遊びを推奨していく。給食指導の中で食を大切に作る意識を育てていく。
家庭・地域との連携	地域に開かれた学校づくりを推進する。	コミュニティ・スクール(CS)初年度として、保護者・地域と共にある開かれた学校づくりを推進する。	CSを活用し地域人材や地域教材を学校教育に生かし授業実践を行うとともに、学校公開、ブログ、HPにより情報を発信する。	2		3		地域人材や地域教材を活用した授業を行うことができた。学校ボランティアに協力していただき情報共有しながら地域と学校が密接につながりをもてるよう心掛けた。	CS委員の方々に御協力いただき、地域教材や人材を生かして授業実践が行えるよう検討していく。

<b>教育目標:</b> ○考えを深める子    ◎ひとを思いやる子    ○からだをきたえる子 <b>目指す学校像:</b> 自分や友達によさや成長、学ぶ喜びを実感できる学校 <b>目指す児童・生徒像:</b> 元気に活動し、意欲的に学ぶ子 問題を論理的に解決し、学んだ事柄を活用できる子 心身ともたくましく思いやりのある子 <b>目指す教師像:</b> 子供と共に喜び、悩みを理解できる教師 教育公務員の自覚をもち行動できる教師 授業力向上へ意欲的な教師 児童、保護者、地域から信頼される教師
---

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
確かな学力の定着	問題解決的な学習を積極的に取り入れ、知識・技能の習得とともに思考力・判断力・表現力、及び学びに向かう力を育成する。	協働的な学びや一人一人に応じた個別最適な学びを授業に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。	PDCAに基づいた授業改善・指導方法の工夫に努め、児童の学力の向上を目指す。また、校内研究「国分寺学」を中心に地域に親しみ、学び、貢献する授業を推進する。	3		3		学力向上に向けて、個人差が大きい。問題解決的な学習に、個別最適な学びをどう取り入れていくか授業改善が必要。	子ども用実のツールとして、タブレット端末は、使えるときにすぐ使う。国分寺学など、日本語を大事に正しい表現に気を付け地域へ発信していく。
		ねらいを明確にした分かりやすい授業を展開するとともに、基礎的・基本的な学習の確実な定着や表現力の育成を図る。	ねらいに合わせて、1人1台タブレット端末を効果的に活用するなど、基礎・基本の学習の定着や表現力の育成に努める。	2		2		さらに、基礎基本の定着や総合的な学習の時間での表現力の一助となるよう、タブレット端末を活用していく。	タブレット端末をうまく活用し、個別最適な学びになるよう工夫をして、基礎基本の定着を図ってほしい。
豊かな人間性の育成	誰もが大切にされる温かな人間関係の構築に努め、思いやりのある児童を育てる。	生命尊重、人権尊重を基調とした豊かな人間関係の構築を目指した教育活動を推進する。児童が互いの立場や違いを認め・助け合い、差別や偏見のないよりよい学校生活を送ろうとする意識を高める。	学校全体で「いじめはしない・させない・見逃さない」を徹底し、道徳科の授業を創意工夫して展開し、児童主体の未然防止に向けた取組をする。	3		3		「ありがとうの木」を代表委員会を中心に取り組んでいる。2学期は、全校や他校に児童が主体となって取組について発信していく。	SNSでのいじめ問題が深刻化している。学校・保護者と協力して情報モラル教育の充実させ、いじめの未然防止に努めてほしい。
			挨拶運動を実施し、児童を取り巻く言語環境を整え、正しい言葉遣いやマナーを身に付けさせる。	3		3		言葉遣いについて、日頃から教師ばかりでなく、高学年にも学校の代表だと意識をさせ、挨拶の手本となるよう進めていく。	地域で親切にされた児童がきちんとお礼を言っている姿を見かけた。すすんで挨拶できる子が多いので、更に伸ばしてほしい。
健康や向上体力	食育を推進し、食に興味・関心を持たせるとともに、丈夫な体を作るのを児童を育てる。	体育や特別活動において活動を工夫・改善を通して、児童の体力向上や心身の健康の維持・増進に努める。	体育や特別活動において、児童の関心や意欲を高める指導・授業改善を図り、外遊びを奨励し、運動の日常化を推進する。伝統的な日本の食文化や地場野菜「こくベジ」に触れる体験等を積極的に取り入れる。	3		3		学級遊びなど、工夫して取り入れて運動遊びを推奨していく。給食指導の中で食を大切にすることを育てていく。	運動会の練習など、熱中症に気を付け、児童に無理のないように取り組んでほしい。こくベジへの取り組みが食育につながっている。
家庭・地域連携	地域に開かれた学校づくりを推進する。	コミュニティ・スクール(CS)初年度として、保護者・地域と共に開かれた学校づくりを推進する。	CSを活用し地域人材や地域教材を学校教育に生かし授業実践を行うとともに、学校公開、ブログ、HPにより情報を発信する。	2		3		CS委員の方々に御協力いただき、地域教材や人材を生かして授業実践が行えるよう検討していく。	夏休みは地域が子供たちの活動場所となる。学校・地域・保護者と連携し共に子供たち育てていきましょう。